



案ずるより産むがやすし

桃の花咲く季節となり、待ちに待った春の到来です。気候も良いため、お散歩などしてリフレッシュしましょう。産科病棟では、ご出産された皆様に産後のアンケートで様々なご意見をいただき、参考にさせていただいております。今回は、その中のいくつかをご紹介します。

コロナ禍ということもあり立ち会いたしの出産はやはり不安もありました。実際一人での陣痛に耐えている間は孤独感もありました。ですがNSコールを押しやすくて助産師さんに来てくちで安心が出来ました。授乳のトラブルについても相談するいろいろなアドバイスをくれたので良かったです。

いろいろとサポートしていただき無事出産することができました。ありがとうございます。

今回は二人目の出産でしたが一人目も二つらであ世話になりました。一人目の時とは違うアドバイスをいただき新しい気持ちがありました。一人目と同じ子育てすれば大丈夫と思いかろですがそうでは無いですね。その子に合った子育てをしていこうと思ふことができました。ありがとうございます。

うれしいお言葉をありがとうございます。コロナ禍の体制について皆様にご理解・ご協力をいただき、感謝しております。現在、立ち会い分娩は実施しておりませんが、安全に留意し、安心して過ごせるよう心を込めてサポートします。今後の体制について、その都度変更がありますが、今後ともご協力をお願いいたします。



素晴らしい気づきをされましたね。出産や育児は人により随分と違います。経産婦さんは、上の子の時と比べてしまいがちですが、お母さんと赤ちゃんに合わせた育児をできるようにサポートしますので、なんでもご相談ください。

貴重なご意見をありがとうございます。ご不安に感じた場面があったとのこと、申し訳ありません。夜間や休日、お産が立て込んだ時など、行き届かない場面があるかもしれません。少し時間をおいて対応することもあるかもしれませんが、お産や授乳、その他ご不安に感じることは、いつでもナースコールなどでお知らせください。また、状況に応じた対応方法などご説明します。入院中に赤ちゃんとの関わり方など、自分なりに習得していきましょうね。



ただ、助産師のみは自分の仕事に集中している感じがして、分娩に立ち会いつつ、看護士、赤十字、お母さんのケアも行う。体制管理をする。本当に大変な仕事だと思ふ。その分、授乳の比べ、オムツ交換の。閉経してからも、多産がなると。詳しい方は閉経後はと感ふ場面が何度もあります。初産でしたら、分娩室に入って、いかに陣痛が強くなる。時間がかかるともあります。分娩が始まるとは、部屋は自分一人しかありません。どうすればいいか、痛みは強くなる一方で、特に不安を感じました。



いただいたご意見を参考にして、皆様が安心安全な出産をすることができ、その後の育児への良いスタートとなるよう、スタッフ一同、より良い看護・助産ができるよう今後とも努力してまいります。入院中など、お気づきの点があれば、お近くのスタッフにお声掛けくださいね♪



母親学級のお知らせ

日程:3月1日(前期)8日・22日(後期)

4月19日(前期)12日・26日(後期)

時間:13時30分～ 場所:講堂A・B

定員6名の予約制となっております。産婦人科外来受付の予約用紙にお名前を記入し、ご予約ください。病棟案内はありません。当院のホームページもご確認ください。



バックナンバーはこちらからチェック！

妊娠・出産・育児などにまつわる話題をまとめた機関紙「案ずるより産むがやすし」は当院の産婦人科病棟スタッフが毎月発行しています。産婦人科外来・正面玄関にて配布しておりますので、手に取っていただけると幸いです。